

2学期始業式

今日から2学期が始まります。この夏休み、どんなことを自分で決めて実践することができましたか。

1学期の終業式で「信頼される人」、「みんなに応援される人」とは、自分の目標に向かって頑張ったり、自分の目の前の困難に対して前向きに1歩1歩進んでいこうと努力したりする思いのある人だと言う話をしました。

今日は、パリオリンピックで金メダルを取った日本体操男子の団体戦の話を紹介します。

体操男子団体戦は、東京オリンピックでわずか0.103点差で、中国に敗れ2位になりました。今回のパリオリンピックでは、エース橋本選手の活躍で金メダルが期待される大会でした。しかし、オリンピックの2か月前、橋本選手は、中指靭帯を損傷し、思うような演技ができにくい状況でした。その中で、鞍馬で、橋本選手が落馬し、最後の種目の鉄棒の前には、中国に3.267という得点差をつけられます。

実は、決勝戦の前夜、日本チームは、ミーティングで、東京オリンピックの悔しさを語り、「2位じゃいやだ。」と話をします。そして、今まで、橋本選手に頼りっきりだった自分たちを反省し、今度は自分たちががんばる番だ。「まだいけるんだ」という思いを『つなごう』と話し合います。

決勝当日、日本チームのメンバーは、どんなに中国にリードされても、自分の演技をがんばって後の選手につないでいけば、チームみんながいい演技になる。「まだいけるんだ」という思いをつないでいけば1人だけではなしえないチームの力になる。そう思って、一人ひとりが演技をつないでいきます。その思いが、チームや観客に伝わり、中国選手にもプレッシャーがかかります。

そして、3.267点差を逆転し日本は、金メダルに輝きました。私もこの光景をテレビで見えていましたが、選手の気迫とまだいけるといふ気持ちが伝わってきて、最後までテレビで応援してしまいました。

2学期は、生徒会の選挙があったり、邑輝祭があったりします。先輩達が校則改正や制服の変更などしてきた思いや努力を受け継ぎ「つ

なく」準備はできていますか、また、合唱で、クラスの歌声をみんな
でつなぐ準備はできていますか。さらに、今学期は入試の準備や職場
体験、地域学習など邑久中学校以外の人達にみんなを見てもらうチャ
ンスがあります。

この2学期は、何事も人ごとにせず、自分のこととして、自分の思
いや、行動を「つないでいく」こと。ピンチの時に、自分のできるこ
とをしっかりとやることで、最後まであきらめない。そして、自分たち
の行動や熱意で、地域の人達や、保護者の方々が応援したくなる中学
校にしていきましょう。